

# 88 北陸中日新聞社の取材

撮影日時：2022年8月9日（火）

撮影場所：青山彩光苑・正面玄関

8月9日（火）午後に、北陸中日新聞七尾支局より「車いす目線から巡る七尾市直津地区」の冊子完成について取材を受けました。-写真は新聞記者・担当相談員・桶屋-



(写真撮影・提供「青山彩光苑」総務課職員)

桶屋さん 県道など解説冊子

七尾市でバリアフリー環境を発信する車いす利用者の桶屋善一さん(左)らが、整備が不十分で車いすの走行が困難だった同市直津町の県道の様子などを紹介する冊子を発行した。車いすの目線で撮影した写真を解説とともにまとめた。

冊子は「車いす目線から巡る七尾市直津地区」(全六十五頁)。尾市直津地区(全六十五頁)。幅が狭く見通しが悪かった県道116号は、約十年前に整備され、歩道が広くなった。路上を丁寧に観察し、セイタカアワダチソウやコスモスなど同町の道端に咲く草花の写真も多数掲載している。

桶屋さんは「冊子を通して田舎の気持ちを味わってもらえたら。車いすの移動が不便なことを知ってほしい」と語った。

冊子を編集した同市障害者支援施設「青山彩光苑」の職員山下靖一郎さん(右)は「車いすの方が市内に来たときの参考になれば」と話した。

生後間もない頃から脳性まひがある桶屋さんは手足と言語に障害があり、同施設で生活。約十年前から同市・和倉温泉や金沢市などを訪れ、バリアフリー環境をまとめた冊子を発行している。

冊子の内容はホームページ「HSK季刊わたぼうし」で見られる。

(兼松諒)

**車いすで七尾に来た時の参考に**

冊子とともに笑顔を見せる桶屋善一さん(左)と山下靖一郎さん(右) 七尾市青山町の青山彩光苑で

- 2022年8月19日（金）「北陸中日新聞」朝刊 -